

富山市財政の健全化判断比率などをお知らせします

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、次のとおり公表します。

圖財政課 ☎443-2146

富山市の健全化判断比率、資金不足比率

比率の名称		令和2年度 決算	令和3年度 決算	早期(経営) 健全化基準	国の基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	—	—	11.25%	▶赤字はありません
	②連結実質赤字比率	—	—	16.25%	▶赤字はありません
	③実質公債費比率	7.7%	7.5%	25.0%	▶前年度から0.2ポイント改善
	④将来負担比率	124.8%	104.8%	350.0%	▶前年度から20ポイント改善
	⑤資金不足比率	—	—	20.0%	▶資金不足はありません

令和3年度決算では
①～⑤の各指標は、
国の基準を
下回りました。

※「—」…①②は赤字額なし、⑤は対象全ての会計で資金不足額なしを示します。

※①②における早期健全化基準は、自治体の財政規模により異なります。

①～⑤の各指標が、早期健全化基準(⑤の場合は経営健全化基準)以上となった場合、改善が必要な状態とみなされ、財政(経営)健全化計画を策定することが義務付けられています。



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」とは

地方公共団体の財政を堅実で良好な状態にするために、健全性に関する比率を公表し、健全化の計画を策定する制度を定める法律です。

健全化判断比率・資金不足比率とは

①④が「健全化判断比率」です

①実質赤字比率

一般会計等について、歳出に対する歳入の不足額(=赤字額)が、標準財政規模^(※1)に占める割合です。

▲①、②の比率が高い=赤字の程度が大きい、財政運営が深刻です。

②連結実質赤字比率

一般会計等のほか全ての会計の赤字額が、標準財政規模に占める割合です。

③実質公債費比率

一般会計等の借入金(地方債)の返済額やこれに準じる額(公営企業会計の公債費にあてる繰出金)などが、標準財政規模を基本とする額に占める割合です。

▲③の数値が高い=資金繰りが悪化しています。

④将来負担比率

一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の残高が、標準財政規模を基本とする額に占める割合です。

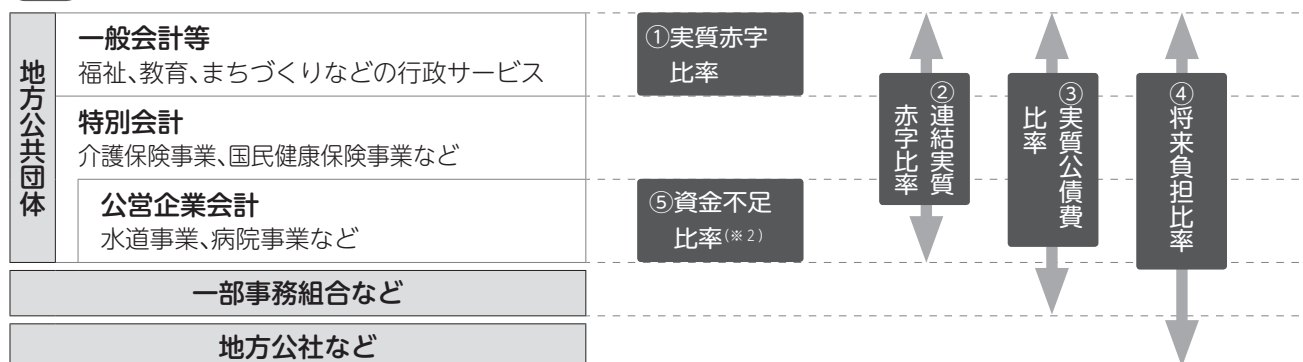
▲④の数値が高い=将来の財政を圧迫する可能性が高くなります。

⑤資金不足比率

公営企業の資金不足額が、事業規模に対して占める割合です。

(※1)標準財政規模とは、地方公共団体の市税や普通交付税などによる収入の1年間の一般財源の合計額です。

参考 自治体財政のイメージと各比率の対象範囲



(※2)資金不足比率は、公営企業会計ごとに算定。

障害者を虐待から守りましょう

図障害福祉課 ☎443-2207

障害者虐待防止法では、虐待を受けたと思われる障害者を発見した場合、速やかに通報することが義務付けられています。その通報が、障害者を虐待から救う大きな一歩となります。連絡した人が特定されないよう、秘密は厳守します。



障害者虐待相談窓口

☎443-2004

◆障害者への虐待が起こりうる場所

- 【家庭】 障害者の生活の世話や金銭の管理などを行っている家族や親族、同居人による虐待
- 【施設など】 障害者福祉施設や障害福祉サービスの事業所で働いている職員による虐待
- 【職場】 障害者を雇用する事業主などによる虐待

◆虐待の種類

身体的虐待

身体に傷や痛みを負わせる暴行を加えること。また、正当な理由なく身動きがとれない状態にすること。

性的虐待

無理やり(または同意に見せかけ)わいせつなことをしたり、させたりすること。

心理的虐待

侮辱したり拒絶したりするような言葉や態度で、精神的な苦痛を与えること。

経済的虐待

本人の同意なく財産や年金、賃金などを使うこと。また、正当な理由なく必要な金銭などを渡さないこと。

放棄・放任(ネグレクト)

食事や入浴、洗濯、排泄などの世話や介助をほとんどせず、心身を衰弱させること。また、同居人による虐待を知りながら放置すること。

10月17日(月)~23日(日)は 薬と健康の週間です

図保健所地域健康課 ☎428-1155

○ 「かかりつけ薬局」「かかりつけ薬剤師」をもちましょう

かかりつけ薬局・薬剤師が薬の情報を一元的・継続的に把握することで、複数の診療科を受診している場合でも、薬の飲み合わせ(相互作用)や重複を確認してもらうことができ安心です。薬を適切に使用するためのアドバイスを受けられるほか、副作用や飲み間違いなどで困ったときにも相談できます。

なお、医療機関や薬局に行くときは「お薬手帳」を持参しましょう。

○ セルフメディケーションで元気な毎日を

セルフメディケーションとは、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすることです。薬を購入するときは薬剤師や登録販売者に相談し、薬の名前や効能、副作用、飲み合わせ、注意事項などをよく理解して安全に使いましょう。

✕ 薬物乱用はダメ・ゼッタイ!

覚醒剤、大麻、危険ドラッグなどの違法薬物は、体や心に害を及ぼす非常に危険なものです。また、依存性が強く、一度でも使用するとやめられなくなります。薬物の影響により交通事故を起こしたり、他人に危害を与えたりするなど、薬物の乱用は本人の問題だけではなく、周りの人や社会に重大な影響を与えます。

薬と健康の週間ポスター

薬についての詳細は、厚生労働省ホームページ(「おくすりe情報」または「薬物乱用防止に関する情報」で検索)をご覧ください。